

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2009年9月

コミッティ活動

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

ISDAは本邦金融庁、証券取引等監視委員会(SESC)、日本銀行と、日本市場における清算機関(CCP)の設立に関して、意見交換を行った。会議の場で ISDA は、欧米でオペレーションを行っている CCP と本邦証券取引所に対し、日本銘柄CDSを扱う CCP の設立に関する意見書を提出する予定であることを説明した。

Credit Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org) / 難波(knamba@isda.org)

日本銘柄を参照とするCDSの清算機関(CCP)に関する要望書の原案がワーキンググループメンバーに回覧された。コメントの受付期限を9月30日とし、最終版を早ければ10月第1週目に複数の CCP に送付する予定。

Japan CDS Standardization Working Group は、3種のスタンダードクーポン(25bp/100bp/500bp)と標準回収率(シニア35%、サブ15%)を新標準として採用することについて合意した。WGによる合意内容は Credit Steering Committee による承認を受けた上で最終合意とされる予定。新標準の導入時期は、12月のロール日となることが見込まれている。

Equity Derivatives: 担当難波(knamba@isda.org)

9月16日、ISDAは日本株およびインデックスに関するヴァリアンススワップについて、どのような場合に取引所により定められた値幅制限の影響により生じた Trading Disruption が Market Disruption Event を構成しうるのか、という点に関して述べた Market Practice Statement のドラフトを回覧した。この Statement は MDE が発生したかどうかについて、Calculation Agent が具体的に決定する際の枠組みとして使用することができる。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

2009 ISDA Regional Conference (Four Seasons Hotel Tokyo at Chinzan-so)	10/29
Credit Derivatives Market Practice Changes, Industry Commitments and Collateral Initiatives Conference (Four Seasons Hotel Tokyo at Chinzan-so)	10/30
Credit CCP Working Group (日本語による会議)	tbc
Collateral Committee (日本語による会議)	tbc
Credit Derivatives Committee (日本語による会議)	tbc